

# 日本におけるESG投資元年

経済調査部 部長 朝倉 香織(あさくら かおり)

## GPIFによるESG投資の開始

7月からGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が、3つのESG指数を採用し、この指数に連動するパッシブ運用(原則として、指数を構成する全銘柄をその構成比率どおりに保有し指数の動きと連動する収益を目指す運用)を当初約1兆円の規模で開始したと公表しました(資料1)。

GPIFは、サラリーマンや自営業者など広く国民の被保険者から集めた年金保険料のうち、年金の支払い等に充てられなかったお金を年金積立金として管理し、市場で運用を行っています。すなわち、被保険者である国民一人ひとりがオーナーであると言えます。また資産規模は149兆円(2017年6月末)であり、世界最大の公的年金、日本最大の機関投資家とも言われます。このように、広く日本の国民がオーナーであり、資産規模の巨額なGPIFがESG投資(ESG要素を考慮する投資)を開始した今年、日本におけるESG投資元年とも言える、エポックメイキングな年と言えそうです(資料2)。

## 期待される人々への認知度の広がり

GPIFはこれまでも、年金積立金の運用に新しい指数を採用しています。これは、GPIFが指数として採用し、その指数に入っている企業へ新たに運用資金が投資されることが、企業にとって取組み強化のインセンティブとなり、長期的な企業価値の向上を後押ししていくことにつながる、ひいては日本経済全体の活性化に寄与していく、という好循環を企図しているものといえるでしょう(資料3)。

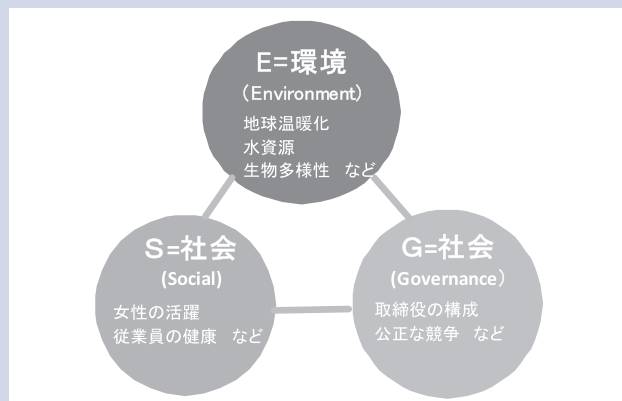
しかし、GPIFを通じて間接的に多くの国民との接点を持ったはずのESG投資ですが、金融市場と直接接している人々と比べ、まだまだ一般的な認知度は高くないようです。幅広い分野の人々にとって、もっと身近で親しみのもてるものとなっていくことも、今後の普及には不可欠と言えそうです。

### 資料1 選定された3つのESG指数の種別等

	種別	種別の説明	指数名
①	統合型	環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)のESG全般を考慮	FTSE Blossom Japan Index
②	統合型	同上	MSCI ジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数
③	テーマ型・社会(S)	社会(S)のうち女性活躍に注目	MSCI 日本株女性活躍指数(愛称WIN)
-	テーマ型・環境(E)	環境(E)のテーマ型指数	(継続審査中)
-	テーマ型・ガバナンス(G)	ガバナンス(G)のテーマ型指数	(該当なし)

(出所)年金積立金管理運用独立行政法人プレスリリース資料より作成

### 資料2 ESG投資の要素例



(出所)年金積立金管理運用独立行政法人HP

### 資料3 ESG投資拡大がもたらす好循環



(出所)年金積立金管理運用独立行政法人プレスリリースより作成